

## ヨセフの信仰告白

ヨハネによる福音書一九章38〜42節

その後、イエスの弟子でありながら、ユダヤ人たちを恐れて、そのことを隠していたアリマタヤ出身のヨセフが、イエスの遺体を取り降ろしたいと、ピラトに願ひ出た。(38)

イエスが亡くなられたとき、議員であったアリマタヤ出身のヨセフが遺体の引き取りをピラトに申し出ました。主の弟子たちがイエスを捨てて逃げてしまった中で、彼の行動は勇氣あるものでした。著者ヨハネは彼のことを「イエスの弟子でありながら、ユダヤ人たちを恐れて、そのことを隠していた」と紹介しています。隠れキリシタンのような信仰を保って、一切の恐れを捨て、地位や名誉を失うことを覚悟の上で、犯罪人イエスの葬りを申し出たのです。人のために自らの命を捨ててくださった御子の死を目の当たりにして、全てのこだわりを投げ打って主に仕える者となりました。主イエスの十字架が、徹底しきれない彼の信仰を変えたのです。私たちも同じような弱さを抱えている信仰者ですが、ヨセフと共に、十字架の主イエスを見つめつつ信仰の歩みを続けたいものです。